

平成28年 東北大学後期日程試験【数学】問題分析

1 今年(H28)の傾向

総評・講評(大問毎に)

理系

- ① (平面ベクトル) 直感的には理解できていても、証明を書き上げるのは難しい。
- ② (数列) 出題文を正しく解釈して関係式を導くことができるかが全て。
(2)以降は典型問題
- ③ (条件付き確率) 着実な数え上げを問うもの。条件付き確率だが、2つの条件の間に包含関係があることに注意。
- ④ (式と曲線) 解き方は色々ある。(2)は場合分けが必要で、大胆な不等式の評価により計算を省略できる。
- ⑤ (複素数平面) (1)条件の処理と、図を利用して考えるとよい。
(2) (1)の条件を満たすことを確認して(1)を利用して計算を進めていく。途中方針で迷うと行き詰まるかも。
- ⑥ (積分法) 部分積分の練習問題レベル

総評

- ① は証明の書き方がわからず手をつけられなかった人が多いだろう。
- ⑤ も複素数平面の幾何ということで苦手としている受験生は多い。
- ② は(1)が全てであり、⑥は易しすぎる。
- 解く順序が重要で、出題の解釈力も問われる。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

理学部	55 %
工学部	%
医学部	%
歯学部	%
薬学部	%
農学部	%

3 来年受験する生徒へのアドバイス

近年の出題頻出分野に加え、新課程で導入された整数問題・条件付き確率・複素数平面の典型問題をしっかり解いておこう。また、出題文も正確に解釈できるように読解力も高めておきたい。